#1799

2023.10.10

第15回 アジア超音波内視鏡テレカンファレンス

【参　加　施　設】	【概　要】
九州大学病院（日本）， マラヤ大学（マレーシア）， インドネシア大学（インドネシア）， チョーライ病院（ベトナム）， 北京協和医院（中国）， マレーシア国立大学（UKM）（マレーシア）， セベラス・マレット大学（インドネシア）， ヤンゴン総合病院（ミャンマー）	第15回のアジア超音波内視鏡テレカンファレンスが開催され、日本及び東南アジアから計6か国、8施設が参加した。インドネシアのSebelas Maret大学からWhipple術後のEUS-HGSが、九州大学病院からEUS-HGS困難症例に対する治療戦略がそれぞれ発表された。いずれも先進的な胆道ドレナージ法であるEUS-HGSに関する発表であり、アジア各国においてもEUS-BDが普及しつつあることや、各国のEUS診療の進歩が伺えるカンファレンスとなった。

モニタに表示される接続施設

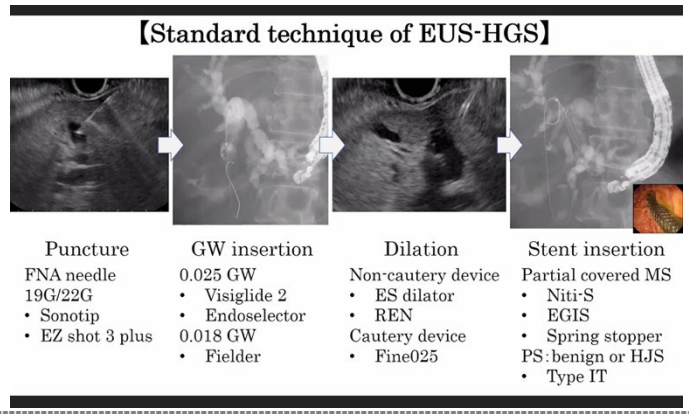
撮影場所：九州大学病院

九州大学病院の様子

撮影場所：九州大学病院

提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院

セベラス・マレット大学より提示された動画

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院の様子

撮影場所：九州大学病院